

TOPIC 1 | 積水ハウスが世界初の生物多様性可視化ツールを開発

2030年までに自然損失を食い止め、2050年までに完全に回復することを掲げた世界的な社会目標「ネイチャーポジティブ」への取り組みが住産業界でも加速しそうだ。

積水ハウスはシンク・ネイチャー社と共同で「生物多様性可視化提案ツール」を開発した。住宅建築地ごとに生物多様性保全効果が高い植栽樹種の組み合わせをシミュレーションして提案するもので、こうしたシステムは世界初となる。提案時における社内ツールとして活用していく予定で、東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県で試験運用を開始。効果を検証した上で、全国での導入を目指す。

同社は、2001年から生物多様性保全の取り組みとして、「5本の樹」計画を展開。地域の気候風土に合った在来樹種

の植栽を提案し、蝶や鳥など生物に配慮した庭づくりを進めてきた。今回は、この「5本の樹」の樹種データと、シンク・ネイチャーの生物多様性ビッグデータを活用した。このツールを使い、建築地の住所と樹種数を入力すると、生物多様性保全効果の高い樹種の組み合わせ上位10組が表示され、そこから1つを選ぶと、在来樹種、呼べる鳥、呼べるチョウそれぞれの数が示される。こうして生物多様性保全効果の可視化を実現することで、設計担当者の科学的エビデンスに基づいた提案が可能となり、外構提案の満足度の向上も期待できる。ツールを使用することで従来の提案より、約2.6倍のネイチャーポジティブ効果があると見込む。

TOPIC 2 | 住宅メーカー、富裕層向け商品の注力が相次ぐ

住宅メーカーの富裕層向け商品に注力する動きが強まっている。

大和ハウス工業は富裕層をターゲットとした鉄骨戸建住宅商品「xevo Σ PREMIUM SMILE Edition (ジーヴォシグマプレミアム スマイルエディション)」と木造戸建住宅商品「PREMIUM GranWood SMILE Edition (プレミアムグランウッド スマイルエディション)」を発表した。創業70周年の記念商品で、社内資格を有する建築家「ハウジングマイスター」が一人一人、顧客の要望に合わせてハイクラスな空間を自由設計する。

両商品とも販売価格は175万円～/坪(税込)。販売エリアは沖縄県を除く全国で、年間販売目標を xevo Σ PREMIUM SMILE Edition は 50 棟、PREMIUM GranWood SMILE Edition は20棟とした。

住友林業も富裕層向けの新築木造住宅「邸宅設計プロジェクト」を、この7月から沖縄を除く全国に拡大した。14年にプロジェクトを開始して以来、東京、大阪、名古屋の



大和ハウス工業のxevo Σ PREMIUM SMILE Edition 外観イメージ

三大都市圏のみで対応してきたが、販売価格6000万円以上の受注棟数が14年に比べ3倍となるなど需要の高まりを受けて、規模を広げた。

併せて設計を担う社内の専属デザイナーの体制も拡充。社内基準をクリアした設計担当者を「チーフデザイナー」として新たに認定し、全国の支店に配置した。インバウンド需要の拡大もあってニーズが広域化・多様化するなか、対応力を強化し、富裕層からの安定した受注拡大を目指す戦略だ。

今知りたい情報がここにある
住生活産業のための
情報プラットフォーム

Housing Tribune Online premium
ハウジングトリビューン オンライン プレミアム
<https://htonline.sohjusha.co.jp/premium/>